



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月4日

上場会社名 株式会社エムケイシステム

上場取引所 東

コード番号 3910 URL <https://www.mks.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 三宅 登

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長

(氏名) 吉田 昌基

TEL 06-7222-3394

四半期報告書提出予定日 2020年2月5日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	1,756	20.2	207	20.7	205	21.5	127	160.9
2019年3月期第3四半期	1,461	6.5	171	16.3	169	17.1	48	62.2

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 121百万円 (191.4%) 2019年3月期第3四半期 41百万円 (67.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	23.41	
2019年3月期第3四半期	8.97	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	2,153	1,232	55.7
2019年3月期	1,945	1,164	57.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 1,200百万円 2019年3月期 1,117百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		8.00	8.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,496	20.3	359	13.2	356	16.7	225	101.1	41.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	5,428,000 株	2019年3月期	5,428,000 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	441 株	2019年3月期	312 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	5,427,614 株	2019年3月期3Q	5,427,715 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、世界経済については、通商問題を巡る中国経済の先行き、英国のEU離脱等の海外経済の動向や金融資本市場の変動の影響に加え、消費税率引上げ後の消費マインドの動向に関する不確実性から、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

国内の情報サービス業界では、クラウドコンピューティングに代表されるサービス化の流れが一層加速する中、AI（人工知能）等の最新のテクノロジーの活用やクラウドサービス間での連携強化等、付加価値向上に向けた取り組みが進んでおります。当社グループの関連する人事労務領域においては、政府が推進する「働き方改革」に伴う効率的な働き方等を実現するためのクラウドサービスの活用意欲が高まっております。

このような環境の下、当社グループでは、社労夢事業における社労夢システムの拡販や新製品のリリース、CuBe事業における「CuBeクラウド」の機能強化を行う等、業容拡大を図りました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は売上高1,756,594千円（前年同四半期比20.2%増）、売上原価878,011千円（前年同四半期比37.7%増）、売上高に対する売上原価の比率50.0%（前年同四半期比6.4ポイント増加）、売上総利益878,582千円（前年同四半期比6.7%増）、営業利益207,123千円（前年同四半期比20.7%増）、売上高に対する営業利益の比率11.8%（前年同四半期比0.1ポイント増加）、経常利益205,765千円（前年同四半期比21.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益127,078千円（前年同四半期比160.9%増）となりました。また、当社グループが重要な経営指標と考える自己資本利益率（ROE）は、当社単体では14.4%（前年同四半期は10.3%）となりました。連結ベースでは11.1%（前年同四半期は4.6%）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

(社労夢事業)

社労夢事業においては、政府による社会保険・税手続のオンライン・ワンストップ化等の推進の中、「働き方改革」のための業務効率化の必要性を背景に、主要顧客である社会保険労務士市場のみでなく、一般法人市場においてもシステム導入意欲が高まっております。一方で、競合による新規参入が散見され、競争の激化が予想されま

す。このような中、社労夢事業では、一般法人企業獲得に向けた営業展開を進めると共に、中小企業向け新製品「Direct-HR」のリリース及び各種法令改正への対応等を行ってまいりました。

この結果、クラウドサービス売上高は、1,226,197千円（前年同四半期比20.5%増）となりました。これは、主力サービスである社労夢製品のユーザー数が順調に増加したことに伴う月額利用料の積み上がりに加え、一般法人企業の利用数が増加したことにより、ASPサービス売上高が1,077,216千円（前年同四半期比19.3%増）となったこと、及び一般法人企業への新規導入が進んだことに伴いシステム構築サービス売上高が148,981千円（前年同四半期比30.3%増）となったことによります。また、システム商品販売売上高は84,799千円（前年同四半期比12.2%増）、その他サービス売上高は546千円（前年同四半期比84.0%減）となりました。

一方で、新製品のリリースに伴い減価償却費が増加したこと等により、前年同四半期に比べ売上原価が増加しました。

以上の結果、社労夢事業の売上高は、1,311,543千円（前年同四半期比19.6%増）となり、売上総利益は761,956千円（前年同四半期比4.8%増）、営業利益は266,943千円（前年同四半期比0.9%増）となりました。当社グループで重要な経営指標としている売上高に対する営業利益の比率は20.4%（前年同四半期比3.8ポイント悪化）となっております。

(CuBe事業)

CuBe事業では、大手企業の人事総務部門向けに業務プロセスの効率化を目的として個社毎にカスタマイズしたフロントシステムの受託開発と、大手企業向け受託開発を通じて蓄積したノウハウを活かし、中小企業での利便性を実現したクラウドサービスの提供を行っております。

フロントシステムの受託開発については、既存顧客からの改修案件のニーズを的確に把握し受注・納品件数を着実に伸ばしました。一方、クラウドサービスにおいては、「GooooN」の販売強化、「年末調整CuBeクラウド」の法令改正対応など機能強化を進めユーザー獲得に努めました。

以上の結果、CuBe事業の売上高は457,737千円（前年同四半期比25.1%増）、売上総利益は118,525千円（前年同四半期比22.1%増）、営業損失は60,711千円（前年同四半期は94,853千円の営業損失）となりました。なお、CuBe事業の営業損失については、のれん償却額29,146千円を反映しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、1,093,162千円（前期比23.3%増）となりました。主な内訳は、現金及び預金668,607千円、売掛金379,335千円となっております。

また、固定資産の残高は1,059,956千円（前期比0.1%増）となりました。主な内訳は、ソフトウェア485,513千円、のれん262,318千円、差入保証金180,379千円、繰延税金資産26,417千円となっております。

以上の結果、総資産は2,153,119千円（前期比10.7%増）となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、548,751千円（前期比22.7%増）となりました。主な内訳は、1年内返済予定の長期借入金166,644千円、未払金102,373千円、未払消費税等66,306千円及び前受金44,059千円となっております。

また、固定負債の残高は372,256千円（前期比11.7%増）となりました。内訳は、長期借入金372,256千円となっております。

以上の結果、負債合計は921,007千円（前期比18.0%増）となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における株主資本は、1,200,236千円（前期比7.4%増）となりました。主な内訳は、資本金219,110千円及び資本剰余金197,457千円、利益剰余金784,106千円となっております。

以上の結果、純資産は1,232,111千円（前期比5.8%増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月10日に公表した「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載しております連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	326,895	668,607
売掛金	430,221	379,335
商品	3,917	5,713
仕掛品	48,433	15,043
貯蔵品	172	287
前払費用	29,413	21,409
未収消費税等	44,301	—
未収還付法人税等	2,457	194
その他	720	2,570
流動資産合計	886,532	1,093,162
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	22,968	21,665
車両運搬具（純額）	3,911	2,934
工具、器具及び備品（純額）	54,021	51,862
有形固定資産合計	80,901	76,462
無形固定資産		
ソフトウェア	408,214	485,513
ソフトウェア仮勘定	155,411	26,094
商標権	1,536	1,382
電話加入権	1,218	1,218
のれん	291,464	262,318
無形固定資産合計	857,845	776,527
投資その他の資産		
出資金	70	70
差入保証金	52,077	180,379
繰延税金資産	67,868	26,417
その他	98	98
投資その他の資産合計	120,114	206,966
固定資産合計	1,058,860	1,059,956
資産合計	1,945,393	2,153,119

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	36,251	21,484
短期借入金	30,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	150,311	166,644
未払金	89,087	102,373
未払費用	31,513	35,828
未払法人税等	4,633	49,710
未払消費税等	5,163	66,306
前受金	30,619	44,059
受注損失引当金	10,367	—
賞与引当金	47,787	26,668
その他	11,332	15,675
流動負債合計	447,066	548,751
固定負債		
長期借入金	333,340	372,256
固定負債合計	333,340	372,256
負債合計	780,406	921,007
純資産の部		
株主資本		
資本金	219,110	219,110
資本剰余金	198,169	197,457
利益剰余金	700,449	784,106
自己株式	△327	△437
株主資本合計	1,117,400	1,200,236
非支配株主持分	47,586	31,875
純資産合計	1,164,987	1,232,111
負債純資産合計	1,945,393	2,153,119

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	1,461,233	1,756,594
売上原価	637,463	878,011
売上総利益	823,769	878,582
販売費及び一般管理費	652,227	671,459
営業利益	171,542	207,123
営業外収益		
受取利息	5	3
受取配当金	1	1
助成金収入	—	100
保険解約返戻金	9	21
仕入割引	14	11
還付加算金	—	358
その他	61	105
営業外収益合計	92	601
営業外費用		
支払利息	2,333	1,957
その他	2	1
営業外費用合計	2,335	1,959
経常利益	169,298	205,765
特別損失		
違約金	94,121	—
特別損失合計	94,121	—
税金等調整前四半期純利益	75,177	205,765
法人税、住民税及び事業税	1,514	42,820
法人税等調整額	31,968	41,450
法人税等合計	33,482	84,270
四半期純利益	41,694	121,494
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7,018	△5,584
親会社株主に帰属する四半期純利益	48,713	127,078

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	41,694	121,494
四半期包括利益	41,694	121,494
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	48,713	127,078
非支配株主に係る四半期包括利益	△7,018	△5,584

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	社労夢事業	CuBe事業	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	1,095,848	365,384	1,461,233	—	1,461,233
セグメント間の内部売上高又は 振替高	414	579	993	△993	—
計	1,096,262	365,964	1,462,226	△993	1,461,233
セグメント利益又は損失(△)	264,505	△94,853	169,652	1,890	171,542

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	社労夢事業	CuBe事業	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	1,310,240	446,353	1,756,594	—	1,756,594
セグメント間の内部売上高又は 振替高	1,303	11,383	12,686	△12,686	—
計	1,311,543	457,737	1,769,280	△12,686	1,756,594
セグメント利益又は損失(△)	266,943	△60,711	206,232	891	207,123

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。